

SuperPrep® II Cell Lysis Kit for qPCR

First issue : Dec. 13, 2016



SDS No.2115A

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	SuperPrep® II Cell Lysis Kit for qPCR
製品コード	SCQ-501
供給者の会社名称	東洋紡株式会社
住所	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
担当部門	ライフサイエンス事業部
電話番号	06-6348-3786
FAX番号	06-6348-3833
推奨用途および使用上の制限	細胞からRNA抽出操作を行わずにqPCR発現解析を行うための細胞溶解及びcDNA合成(研究用試薬)

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性 有害性	gDNA Remover、RNase Inhibitorは皮膚刺激性、眼刺激性のあるグリセロールが含まれる。Lysis Solutionには眼刺激性のある界面活性剤が含まれる。有害性に関する調査が不十分なので、取り扱いには注意する。 常温では特に危険性はない。 特になし		
物理的及び化学的危険性 特有の危険有害性			
GHS分類	gDNA Remover	RNase Inhibitor	
物理化学的危険性	引火性液体	区分外	区分外
人健康有害性	皮膚腐食性・刺激性 眼損傷・眼刺激性	区分外 区分2B	区分外 区分2B
環境有害性		分類できない	分類できない
物理化学的危険性 人健康有害性	引火性液体 皮膚腐食性・刺激性 眼損傷・眼刺激性	Lysis Solution 区分外 区分外 区分外	
環境有害性 ラベル要素		分類できない	
絵表示又はシンボル:	gDNA Remover RNase Inhibitor -		
注意喚起語:	警告		
危険有害性情報:	眼への刺激		
注意書き:	取扱い後、手をよく洗う。		
安全対策(予防策) 応急措置(対応)	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。		

SuperPrep® II Cell Lysis Kit for qPCR

First issue : Dec. 13, 2016



SDS No.2115A

安全データシート

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物（水溶液）

化学特性

パーツ名

<Lysis Solution>

主要成分

トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン

CAS No.

77-86-1

界面活性剤

-

塩化マグネシウム

7786-30-3

塩化カルシウム

10043-52-4

ジチオスレイトール

3483-12-3

プロテイナーゼK

39450-01-6

<gDNA remover>

グリセロール

56-81-5

デオキシリボヌクレアーゼI

9003-98-9

<RNase Inhibitor>

グリセロール

56-81-5

2-[4-(2-ヒドロキシエチル)-1-ピペ

7365-45-9

ラジニル]エタンスルホン酸

リボヌクレアーゼ阻害剤

-

危険有害成分

化学名又は一般名

界面活性剤

グリセロール

別名

-

グリセリン

含有量

0.1%以下

約50%

化学特性

-

CH₂(OH)CH(OH)CH₂(OH)

CAS番号

-

56-81-5

官報公示整理番号 化審法 :

既存

(2)-242

安衛法 :

公表

公表

化学名又は一般名

2-[4-(2-ヒドロキシエチル)-1-ピペラジニル]エタンスルホン酸

別名

HEPES

含有量

0.5%

化学特性

C₈H₁₈N₂O₄S

CAS番号

7365-45-9

官報公示整理番号 化審法 :

該当しない

安衛法 :

該当しない



安全データシート

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに新鮮な空気のある場所に移し、気分が悪くなった場合は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

多量の水で十分洗い流す。

眼に入った場合

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤

消火を行う者の保護

消火は風上から行う。

大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

眼、皮膚への接触、吸入を避ける。

環境に対する注意事項

廃液が直接河川に流れないようにする。

除去方法

可能な限り、減圧で吸引したり、ウェスなどに吸収させて密閉式の空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

適切な保護具を着用する。

安全取扱い注意事項

眼、皮膚、衣服への接触を避け取扱い後は充分洗浄する。

衛生対策

取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。

保管

適切な保管条件

-20℃以下で保管する。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

SuperPrep® II Cell Lysis Kit for qPCR

First issue : Dec. 13, 2016



SDS No.2115A

安全データシート

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度	界面活性剤	グリセロール (ミスト)	HEPES
日本産業衛生学会勧告値	設定されていない	設定されていない	設定されていない
ACGIH TLV	設定されていない	10mg/m ³	設定されていない
OSHA PEL	設定されていない	total dust: 15mg/m ³ TWA respirable fr. : 5mg/m ³ TWA	設定されていない
保護具	必要に応じてマスクを着用する。		
呼吸器の保護具	ゴム手袋を着用する。		
手の保護具	保護眼鏡を着用する。		
眼の保護具	必要に応じて実験用の被服等を着用する。		
皮膚及び身体の保護具			

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色	
臭い	常温ではすべてのパーツが無色透明の液体。-20℃ではLysis Solutionは固体、gDNA Remover、RNase Inhibitorは液体。
pH	ほとんど無臭。
引火点	6.0~9.0
爆発特性	データなし
比重(密度)	常温では爆発性はない。
溶解性	1.0~1.2
	水に可溶

10. 安定性及び反応性

安定性	
反応性	-20℃で安定。
避けるべき条件	特に常温で危険な反応性はない。
危険有害な分解生成物	高温、直射日光、火災などによる強熱、強酸化剤、還元剤 知見なし

11. 有害性情報

急性毒性	データなし
局所効果	眼や皮膚の粘膜を刺激し、結膜炎などの炎症を起こす可能性がある。

各成分の有害性情報

	界面活性剤	グリセロール	HEPES
急性毒性(LD50)	-	ラット経口 : 4,090mg/kg	ウズラ経口 : >316mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	-	ウサギ : 500mg/24hr:Mild	-
眼損傷・眼刺激性	ウサギ : 未希釈 OECD405法 : 区分1	ウサギ : 500mg/24hr:Mild	-
発癌性	記載なし	記載なし	記載なし
日本産業衛生学会 ACGIH	記載なし	記載なし	記載なし

SuperPrep® II Cell Lysis Kit for qPCR

First issue : Dec. 13, 2016



SDS No.2115A

安全データシート

1 2. 環境影響情報

生態毒性

グリセロール

界面活性剤

ニジマス : ニジマス :
 LC50 (96hr) 54g/L LC50 (96hr)
 金魚 : LC50 (24hr) > >0.5 mg/L
 5g/L
 オオミジンコ
 : EC50 (24hr) >10g/L
 紅藻 : EC50 (28hr)
 4.6g/L

残留性・分解性

グリセロールや酵素等、良分解性である。界面活性剤は易分解性ではない。

生体蓄積性
 土壌中の移動性

生体蓄積性はないと考えられる。
 水に対する溶解性は高いので、移動すると考えられる。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理委託することが好ましい。本製品の低濃度廃水は活性汚泥処理を行うことができる。焼却する場合には、焼却設備により大気汚染防止法令等に従い、おがくずなどに吸収させて焼却炉で少しずつ焼却する。

汚染容器・包装

大量の水で洗浄後、容器の種類に応じて処分する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連分類

海上

航空

国内規則

陸上

海上

航空

輸送の特定の安全対策及び条件

該当しない

該当しない

該当しない

該当しない

該当しない

該当しない

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

SuperPrep® II Cell Lysis Kit for qPCR

First issue : Dec. 13, 2016



SDS No.2115A

安全データシート

15. 適用法令

	界面活性剤	グリセロール
化学物質排出把握管理促進法	第一種指定化学物質 (含有量1%以下のため対象外)	非該当
消防法	該当しない	危険物第4類引火性液体第3石油類 水溶性液体 (50%水溶液のため対象外)
海洋汚染防止法	該当しない	施行令別表第1有害液体物質 (Z類物質等) (50%水溶液のため対象外)

16. その他の情報

参考文献

厚生労働省 職場のあんぜんサイト

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp>

NITE:独立行政法人 製品評価技術基盤機構

<http://www.nite.go.jp/>

制約事項

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の見取りを対象としたものですので、特別の見取りをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。